

縦継ぎを標準化し高い止水性能を発揮する 折板カバー工法“かいしん”[®]

日鉄鋼板（株）

特長

- ・既存の屋根をはがさないカバー工法は、改修工事中も作業が可能で既存屋根材の撤去費用、産業廃棄物処理費が不要です。
- ・縦継ぎをすることで、現場成型ができない狭小地や長尺折板の輸送が困難な場合でも、カバー工法による改修工事に対応可能です。縦継ぎ部には、独自開発の“止水プレート”を採用し、高い止水性能を実現しました。乾式工法のため施工もスピーディーです。
- ・カバー工法に使用する折板（カバー折板）の耐風圧強度検討に対応可能なAタイプ（標準工法／高強度工法）と、耐風圧強度の検討を必要としない場合のBタイプ（簡易工法）を用意しています。
- ・AタイプおよびBタイプとも、切り粉を室内に落下させない取付工法です。
- ・断熱材（グラスウール）を挿入することにより、断熱性能を向上させることができます。

用途

工場・倉庫・商業施設等

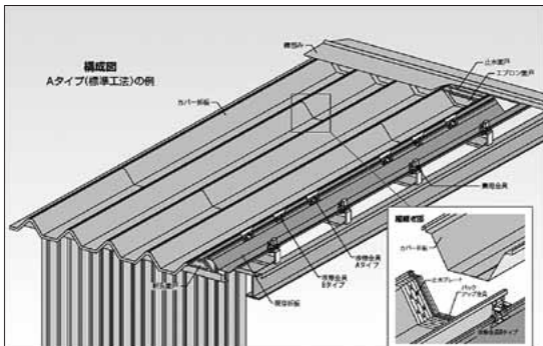
働き幅500mm&山高160mm程度の角ハゼ、丸ハゼ折板の改修工事（カバー工法）

標準仕様

	折板カバー工法 かいしん
原板の種類	エスジーエル、ニスクカラー Pro、他 当社カラー鋼板
標準板厚	0.8mm
働き幅	500mm
屋根勾配	3/100以上
最大流れ長さ	50m以下

※流れ長さが50mを超える場合は、弊社までご相談ください。

構成図



日本製鉄 建設用資材ハンドブック 2025年9月改訂版

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。

積雪対応範囲

※積雪対応範囲は、「縦継ぎ二重折板 新築向け かいしん」カタログをご参照ください。

※積雪深度100cm超の場合には、「積雪補強金具」をご使用ください。

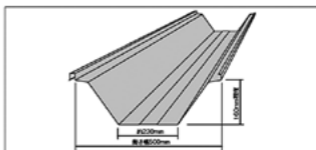
また、積雪深度100cm未満でも、既設屋根間隔が3.5mを超える場合には「積雪補強金具」のご使用をお勧め致します。

対象既存屋根

既存折板		既存タイトフレーム	
<p>●高さ幅500mmの角ハゼ、丸ハゼ</p>		<p>●一般的な2山タイプ</p>	
<p>▲注意</p> <p>独立型タイトフレーム及び兼用タイトフレームの場合は、標準工法は適用できません。</p>			
<p>▲注意</p> <p>独立型タイトフレーム及び兼用タイトフレームの場合は、標準工法は適用できません。</p>			
<p>▲注意</p> <p>独立型タイトフレーム及び兼用タイトフレームの場合は、標準工法は適用できません。</p>		<p>▲注意</p> <p>独立型タイトフレーム及び兼用タイトフレームの場合は、標準工法は適用できません。</p>	

カバー折板

高さ幅	500mm
山高さ	160mm程度
板厚	0.8mm
▲注意	弊社ライセンス制度*に適合した角ハゼ折板に限ります。



*ライセンス制度	
※合部強度と屋根ごとの止水性能を確保するため、成型費等に特別価格を設定する「ライセンス制度」を採用しております。	

工法の選択

強度検討対応	工法	標準工法		高強度工法	
		負圧	○	○	○
正圧		×	×	×	×

<p>●既存折板のタイトフレームと「改修金具Aタイプ」を十字ボルトで連結する新たな工法です。</p> <p>※特許取得済</p>	<p>●梁間中央にも「改修金具Bタイプ」を配置して、接合部強度をアップする増強仕様です。</p>
<p>接合部強度 4,190N</p>	<p>接合部強度 4,770N</p>

<p>●「改修金具Bタイプ」をハゼ部にビス止めする工法です。</p>	<p>▲注意</p> <p>既存折板の強度に依存するため、強度検討は出来ません。</p>
------------------------------------	--

縦継ぎ方法

カバー折板の縦継ぎ

止水プレートを使用することで、角ハゼ折板同士を縦継ぎする独自の工法です。

※特許取得済

止水プレートの特長	上下合わせて6段のリップによる吹き込み防止
	侵入した雨水は排水構造により水の下側へ排水
	パッキンによる止水
	防漏を設ける事で毛細管現象を防止

※既存折板とカバー折板の置き方が逆になりますので、フレカットの位置にご注意ください。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。